

「人材育成担当者の学びと成長」

～イキイキ人材育成担当者になる～

今回の研究会は、人材育成担当者として日頃の課題解決、参加者同士の情報交換を目的に講師より問題提起をし、参加者同士が意見交換する時間を中心に開催した。講師のエスジェイド代表/人財育成プロデューサー中川繁勝氏から、自身の企業での人材育成担当者時代の経験談をおり込み分かり易くご指導があった。



人材育成担当者の役割

人材育成の仕事は、経営トップから新人まで、会社で働くすべての人たちとかわかることができる。その内容は「人と組織の成長」という前向きなもので仕事の中で自らも成長できる楽しい仕事である。部署の枠を超えた社員とのコミュニケーションのハブとなり側面からの支援することが役目である。情報を収集し、それを発信(メールの活用等)し、仲間を作り現場と共に作る研修は社員の満足度にも貢献する。また、自身の学びの場も大切であり、

社内研修にオブザーバー参加、社外研修に参加し社外に同志を作る、研修会社との付き合いから情報を得る等学びの機会はあらゆる場面にあるなど熱心なご指導があった。

後半のグループ討議では「ワールドカフェ」手法を用い、理想的な人財育成の世界をテーマに意見交換を実施した。参加者全員から積極的な発言があり、自身の気づきの機会となったと感想が寄せられた。